



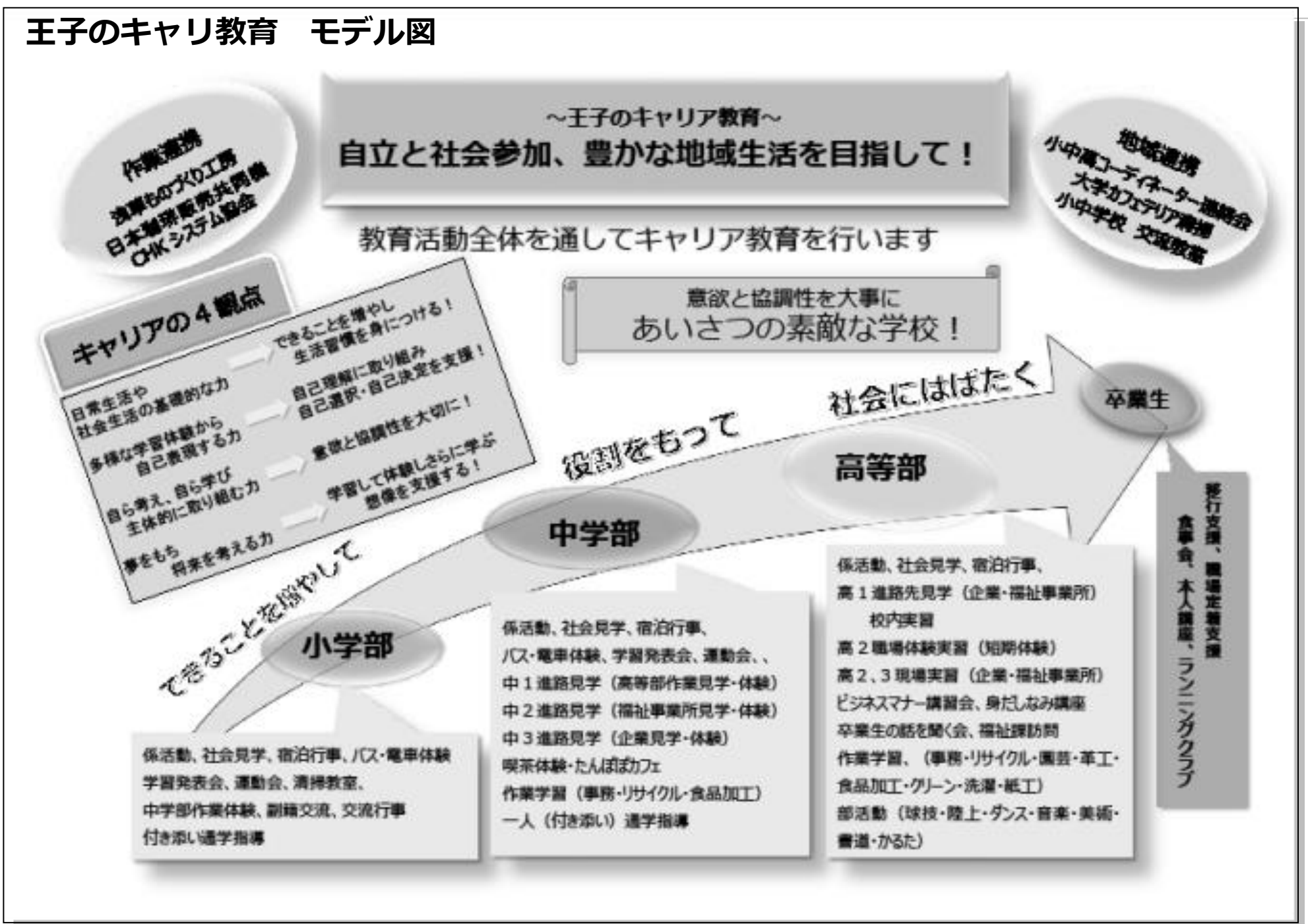
王子のキャリア教育 モデル図を公開します

日頃より、本校教育活動に御理解、御協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、本校のキャリア教育について保護者や地域の方々に御理解いただくため、「王子のキャリア教育」モデル図を公開いたします。

本校では、児童・生徒の自立と社会参加を目指してキャリア教育に取り組んでいます。特に意欲と協調性を大切にして、挨拶の指導に力を入れています。また、児童・生徒一人一人の発達段階に応じて、基本的生活習慣を身に付け、できることを増やし、様々な体験的学習の中で役割を意識し、将来の生活に期待感をもって学習に取り組めるよう支援しています。具体的な活動も記載しておりますが、キャリア教育は教育活動全体を通して行います。それぞれ具体的な取組については、個々の指導計画や支援計画に基づき、面談や保護者会で御説明いたします。

王子のキャリア教育 モデル図



YouTube にて説明動画を配信します

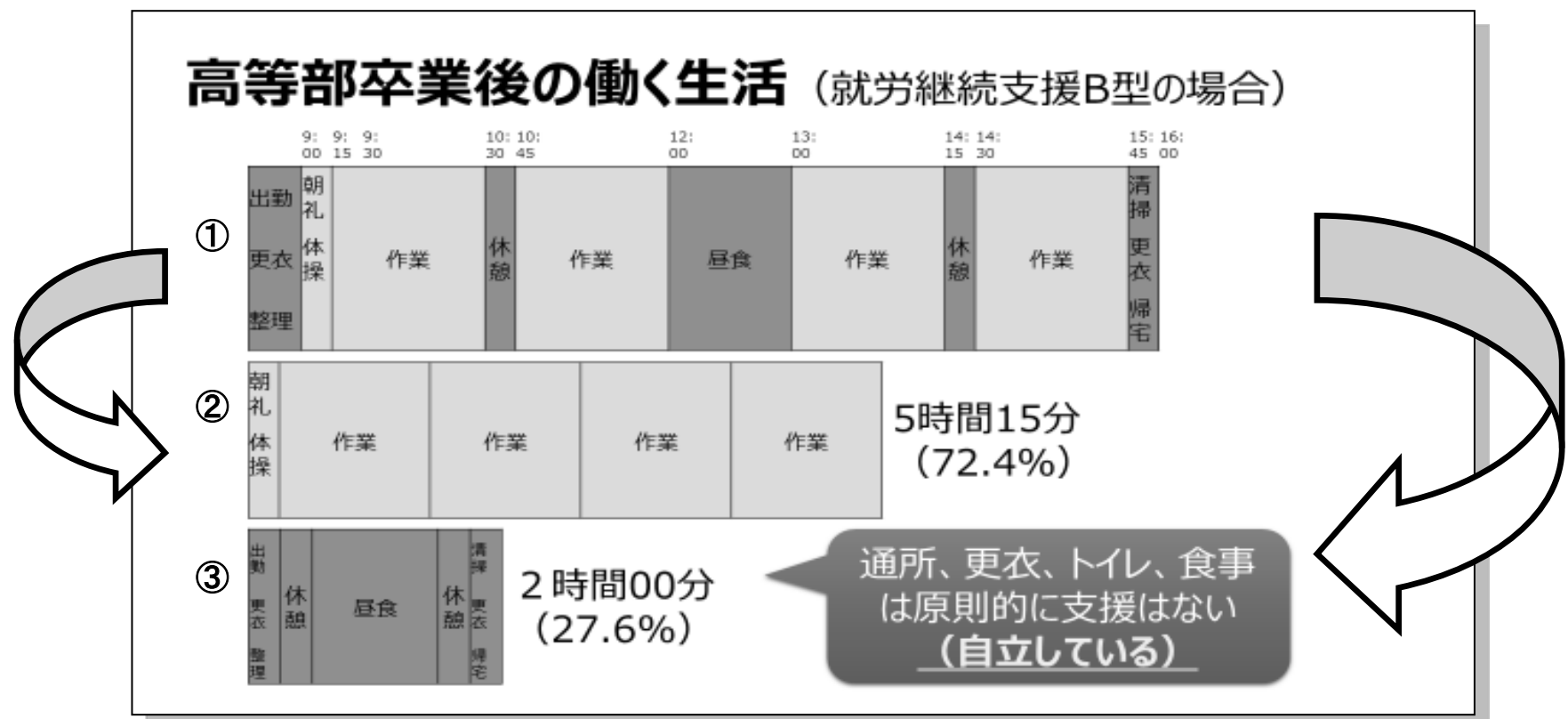
現在、本校キャリア教育について、全教員で理解を深めるためにモデル図の言葉の共有や研修を行っています。今回モデル図について説明動画の一部を YouTube にて配信いたします。動画のアドレスは、Teams の「王子特別」チーム→「キャリアデザイン部より」チャンネルにて公開しますので、御視聴いただき御質問等がございましたら、担任を通してお知らせください。今後も全教員で、児童・生徒一人一人に応じた一貫性のあるキャリア教育の実践を目指してまいります。

基本的な生活習慣を身に付け、できることを増やす！

下の図は高等部卒業後の福祉作業所（就労継続支援B型）における働く生活のイメージです。図の①は1日の生活になります。図の②の薄い色の部分が作業時間で、仕事に取り組む時間です。図の③の濃い色の部分は、それ以外の時間になります。②と③を見ると、働く以外の時間も多くあることが分かります。③の時間は通所や着替え、トイレ、食事など生活に欠かせない基本的な活動になり、福祉作業所や働く生活では、この部分が一人でできることが大切になっています。そして、毎日通うこと、作業の指示に従うこと、仲間と仲良く過ごすことなども重要で、こうした力は小学部時代からの積み重ねによって身に付きます。

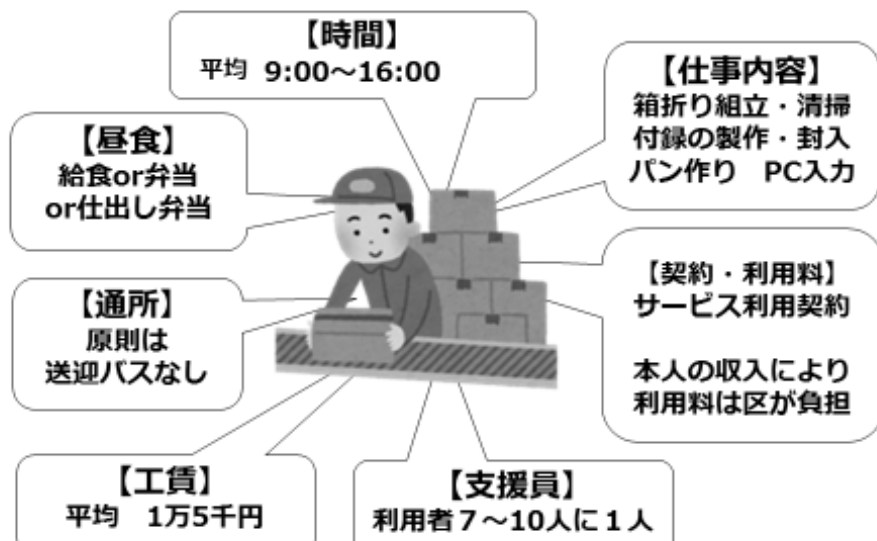
また、作業以外の時間を支援することに重点を置き、成長や維持をサポートする事業所もあります。「生活介護事業所」といいます。仲間との活動や作業を通して、本人の豊かな生活の実現を目指しています。同じ働く生活であっても行き帰りに通所バスが利用できる、支援員の人数が作業所より多いなどの違いがあります。

高等部になるとそれぞれのキャリア発達の段階に応じて、将来の進む道を選択していくこととなりますが、そこには小中学部段階から積み重ねた基本的な生活に関わる力が進路の選択肢を広げることにつながっています。



事業所種類の違いについての一例

就労継続支援B型事業所の活動



生活介護事業所の活動

